

地域活動者に耳より情報

人が集まる！ 活動が続く！

# 地域活動のヒント集



平成23年6月

第2期横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 分科会

横浜市健康福祉局／横浜市社会福祉協議会

## はじめに ～このヒント集のコンセプト～

地域では、自治会町内会、ボランティア、NPO団体等によってさまざまな活動が実施されていますが、活動を支える担い手の不足、後継者の育成といったものが、活動されている方の共通の悩みとしてあげられます。具体的には、

- ・新しい担い手をどのように見つけていくか
- ・活動参加のきっかけをどのようにつくっていくか
- ・活動に継続して参加してもらい、活動を継続・発展させていくためにはどのようにしたらよいか

といったことがあげられると思います。

一方で、“何かをしたい、地域の役に立ちたい、自分のできることは何か”といった思いを持っている方はたくさんいます。

そこで、既に地域活動をしている方々が、新たな人が地域活動に参加するためのきっかけをつくったり、継続的な参加につながっていくようにしていくためには、どのようにしたらよいかということをごこのヒント集にまとめました。さまざまな事例や活動者からのヒアリングを基にし、悩みを抱えながら活動されている方の視点にたって作成しています。

このヒント集は、決して、正解を集めたものでも、これさえやれば安心というものでもありません。活動者として悩みを経験した人たちのそれぞれの思いと、それぞれの工夫をまとめたものです。

また、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会（区ボランティアセンター）、区民活動支援センター等、活動を支援しているみなさまにとっても、地域活動をしている方からの相談に対する支援方法を考える際の参考となるよう作成しています。

このヒント集がきっかけとなり、多くの方が地域活動に参加し、さまざまな活動が生まれ、継続し、誰もがいきいきと暮らしていける地域づくりにつながっていくことを願っています。



# ～ヒント集の見方～

①「解決の視点」ごとに、「解決に向けたヒント」を記載しています。

②「解決に向けたヒント」ごとに、「具体的ヒント」を記載しています。  
 (※複数あるため、数ページにまたがっています)

③ヒントに対する効果を記載しています。

1-1 自ら探す

**解決の視点**

一緒に活動する仲間を見つける

そのためには、

**自ら探す**

解決に向けたヒント！

**解決に向けた具体的ヒント**

①日常生活で会う人とのつながりから、新たな仲間を見つける  
 ～PTA活動、カルチャーセンターなどをきっかけに～

**効果**

直接声かけをした人が仲間になってくれただけでなく、他のメンバーや知り合いにも声かけをしてきて、予想以上に新たな仲間が増えた(参加者が増え、人材と活動に広がり生まれた)。

参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

**PTA活動やカルチャーセンター等、日常のつながりから、新たな仲間は見つかります**

PTA活動は自分の子どもに直接関係する活動であり、保護者としての責任感が強く、共通点がある中での集まりなので、強いつながりと連帯感が生まれます。こういった日常的なつながりをきっかけとして誘い込むことで、一人だけでなく多数の人を引き込むことができる可能性があります。

このような点を意識しながら、声かけをしてみてもどうでしょうか？

1-1 自ら探す

3

4

④ヒントがイメージしやすいよう、事務局からの解説、もしくはヒアリングや分科会委員からの具体的な話をまとめ、具体的な行動・エピソードとして記載しています。  
 (ヒアリングで得た具体的な行動・エピソード等については、文末にヒアリング先の団体名を記載しています。記載がないものは、分科会委員からのメッセージです。  
 ※ヒアリング先一覧 P 49参照  
 ※分科会委員名簿 P 48参照)

# 一緒に活動する仲間を見つける、 その仲間が継続して活動に参加していくためのヒント

活動を支える担い手の不足、後継者の育成といった悩みを解決するために、次の2つの解決の視点を基に、「解決に向けたヒント」をご紹介します。

## 解決の視点

### 1 一緒に活動する仲間を見つける…………… P 3～26

新たに活動をしたいという仲間を見つけたり、活動に参加してみたいと思わせるきっかけをつくるためのヒントをご紹介します。

#### (1) 自ら探す

- 
- 
- ① 日常生活で出会う人とのつながりから、新たな仲間を見つける…………… 3
  - ② 地域のキーパーソンを頼りにする…………… 5
  - ③ 新たな仲間となりうる人をヘッドハンティングする…………… 7

#### (2) 声かけを工夫する

- 
- 
- ① 活動に参加してくれそうな人の情報をこまめにメモし、その情報をもとに声をかける…………… 8
  - ② 参加者自身の関わり方やメリットがイメージできるように説明をする…………… 9
  - ③ 受け手（利用者）も活動の仲間になりうる…………… 11

#### (3) 効果的にPRする

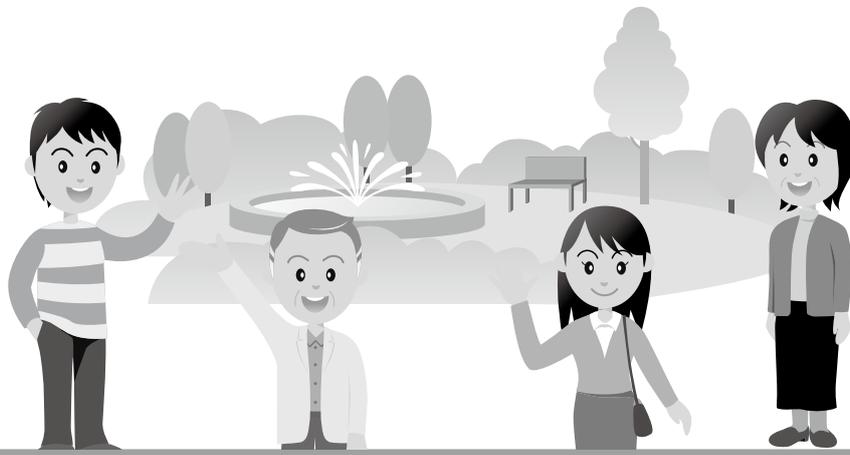
- 
- 
- ① ネーミングで心をつかむ…………… 13
  - ② 様々な媒体を活用する（ブログ、ホームページなど）…………… 14
  - ③ コンビニやスーパーに募集チラシの掲示をお願いする…………… 15
  - ④ 口コミを行う…………… 15
  - ⑤ チラシのポスティングを行う…………… 15
  - ⑥ 地域ケアプラザ、ボランティアセンター、区民活動支援センター、  
地区センター等の協力を得てPRする…………… 17

#### (4) その気にさせる

- 
- 
- ① 感謝の気持ちを言葉で伝える…………… 18
  - ② とともに活動したことの意味や成果を言葉で表し、思いを共有する…………… 19

#### (5) 活躍の場をつくる

- 
- 
- ① ひとりひとりの得意分野や経験を聞き取り、活動に活かせる場や機会につなげる…………… 21
  - ② スター誕生方式…………… 23
  - ③ 出番を演出する…………… 24
  - ④ 参加しやすい雰囲気づくりを仲間とともに話し合う…………… 25



## 解決の視点

### 2 仲間が継続して活動に参加していく…………… P 27 ~ 42

一緒に活動する仲間同士がお互いに力を合わせて、活動を続けていくためのヒントをご紹介します。

#### (1) やりがい モチベーション

- |                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| ① 「ありがとう」「助かった」など感謝の気持ちを伝え続ける……………   | 27 |
| ② 活動の意味や成果を言葉で表し、思いを共有する……………        | 28 |
| ③ 信頼して一定の役割を任せる……………                 | 29 |
| ④ 学びの場を設ける……………                      | 30 |
| ⑤ 地域愛を大切にする……………                     | 31 |
| ⑥ 地域の課題に気付き、活動の意義・意味を実感できるようにする…………… | 32 |
| ⑦ 節目ごとに仲間うちで表彰する……………                | 33 |
| ⑧ タウンニュースや新聞などの情報媒体を使って、活動を紹介する…………… | 34 |
| ⑨ 楽しい雰囲気づくりをする……………                  | 35 |

#### (2) 活動の柔軟性

- |                                    |    |
|------------------------------------|----|
| ① いきなり頂上を目指さない……………                | 37 |
| ② 活動に完璧さを求めず、みんなでよりよい方法を考えていく…………… | 38 |

#### (3) リーダーへの支援

- |   |    |
|---|----|
| ① リーダーを支える仲間をつくる、育てる……………                                   | 39 |
| ② 地域ケアプラザ、ボランティアセンター、区民活動支援センター、<br>地区センター等からの相談支援を受ける…………… | 40 |

#### (4) 世代交代

- |                 |    |
|-----------------|----|
| ① 役割が人をつくる…………… | 41 |
|-----------------|----|

- |           |    |
|-----------|----|
| 巻末資料…………… | 44 |
|-----------|----|

## 解決の視点

一緒に活動する  
仲間を見つける

そのためには、

解決に向けたヒント！

# 自ら探す

## 解決に向けた具体的ヒント



- ① 日常生活で出会う人とのつながりから、新たな仲間を見つける  
～PTA活動、カルチャーセンターなどをきっかけに～

## 効果

直接声かけをした人が仲間になってくれただけでなく、他のメンバーや知り合いにも声かけをしてくれて、予想以上に新たな仲間が増えた（参加者が増え、人材と活動に広がり生まれた）。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

PTA活動やカルチャーセンター等、  
日常のつながりから、新たな仲間が見つかります



PTA活動は自分の子どもに直接関係する活動であり、保護者としての責任感が強く、共通点がある中での集まりなので、強いつながりと連帯感が生まれます。こういった日常的なつながりをきっかけとして誘い込むことで、一人だけでなく多数の人を引き込むことができる可能性があります。

このような点を意識しながら、声かけをしてみてもいいでしょうか？

## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 放課後の活動（放課後キッズクラブ、はまっ子ふれあいスクール、放課後児童クラブ等）に子どもを通わせている父親からつながる輪

子どもの放課後活動を通じてお父さん同士も繋がっていますが、子どもが参加しなくなると同時に、お父さん同士の繋がりもなくなってしまうことが多いものです。

会社とは違う、上下関係のない繋がりを求めている人も多いはず！と思い、「夏祭りでポップコーンを作って！」とお願いしたところ、お父さんたちが快く手伝ってくれました。

また、こういった関係ができてから、青少年指導員や体育指導委員を担ってくださるお父さんも出てきました。

（「仲手原マザークラブ」より）

### 同じサークルや団体で活動してきたメンバーから見つける

○同じ育児サークルで一緒に子育てしてきたお母さんや、育児サークルリーダーの経験のあるお母さんに声を掛け、自分の新しい子育て支援の活動に協力してもらいました。

○自分の団体の活動以外に、民生委員としても活動しています。民生委員活動の中で知り合った人が、自分の団体のメンバーに入ってくれることがしばしばあります。会社勤めを終え、「何かやりたい」と感じている人は多いと思います。常にそういった情報に敏感であるよう心がけ、声かけを行っています。

（「仲手原マザークラブ」より）

### 困っているときこそ、近くの人が助けてくれる

障害児がいる家族のサポート活動を始めようとした当初、サポートをしたいという思いこそあれ、ゼロからのスタート同然でした。当初、社協の存在も、NPOという活動形態も知りませんでした。経営ノウハウも、資金も特別ありませんでした。しかし、ボランティアの仲間など周囲の人々や、地域の社会福祉協議会も家族へのサポートの必要性を感じていたため、活動への協力が得られ、NPOとしての活動は自然な流れで始まっていきました。

「困っているからこそ助け合いは生まれる」もので、主婦友達や子どもの学校のPTA仲間など、昔からのなじみの人々が協力してくれました。大家さんや市役所職員、税務署の担当者までも協力してくれました。

（「NPO法人あいあい」より）

## 解決に向けた具体的ヒント



### ②地域のキーパーソンを頼りにする

～自治会町内会の会長等の地域のキーパーソンにお願いして、自分たちの活動を地域に紹介し、認知してもらう～



## 効果

地域のキーパーソンから地域に対して活動を紹介してもらったところ、協力しようという方々が多数集まった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 地域のキーパーソンとは？

地域内の様々な団体の代表をしている人や、地域で活動をする上で中心を担っている人物のことを言います。具体的には、

- 自治会町内会会長・役員
- 地区社会福祉協議会会長・役員
- 民生委員・児童委員
- ボランティア活動団体のリーダー・役員
- NPO 活動団体のリーダー・役員
- PTA 会長・役員

等が挙げられます。



## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 地道にキーパーソンとの関係を築く

自分の活動団体を立ち上げた当時から、地域の連合町内会や、民生委員等には挨拶に行っています。コツコツと交流会を開催したり、町内会の祭りに参加したりして、関係を築いてきました。今では自分たちの活動に理解を示してくださり、活動をする上での協力もいただいています。



### 活動を立ち上げる際にPRし、理解してもらうよう心がける

地域で異世代交流サロンを立ち上げ、運営する際に、町内会の会合に出席し、地域の皆さんへの理解と協力を得ました。町内会の方々だけではなく、地域で他の福祉関連のNPOの活動をしている方々も応援してくださり、結果、多くの人々の協力を得ることができました。



## 解決に向けた具体的ヒント



③ **新たな仲間となりうる人をヘッドハンティングする**  
 ～研修や講座など同じ目的を持って参加している仲間が集まる機会、地域のイベントへの参加、自治会町内会活動への参加等を通じて～



## 効果

自分の目で見て自分から声をかけ、相手にも理解してもらった上でヘッドハンティングをした結果、積極的に参加してくれる方が増えた。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### ヘッドハンティング

他の活動団体やメンバーの中でこの人に来てもらいたい、という人を見つけて声をかけていくことも一つの方法です。その人の性格や特徴をよくわかっているし、自分の活動に参加してもらおう上でも安心です。



研修や講座、地域のイベント、自治会町内会活動など、自分と同じような活動をしている人と出会う機会は少なくないと思います。

普段からそういった人たちと情報交換をすることで、活動にも広がりが出るのではないのでしょうか？

## 解決の視点

一緒に活動する  
仲間を見つける

そのためには、

解決に向けたヒント！

# 声かけを工夫する

## 解決に向けた具体的ヒント



①活動に参加してくれそうな人の情報をこまめにメモし、その情報をもとに声をかける



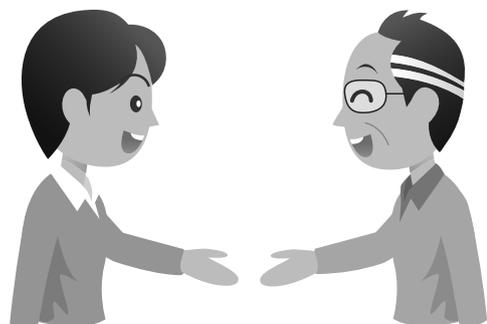
## 効果

情報を細かくメモしていたことで、その人の希望に合った活動につながられ、継続的な参加をしてくれるようになった。

## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 地域活動に興味を持つ人に関する情報を大切に

どの程度活動に参加したいのか、何に興味があるのか、活動に参加する人の思いは様々です。その人その人に合った役割や活動条件を提供できるよう心がけましょう。



## 解決に向けた具体的ヒント



②参加者自身の関わり方やメリットがイメージできるように説明をする  
～活動に誘う際、参加者自身の関わり方やメリットが具体的にイメージできるように説明し、参加者の不安や疑問を解消する～



## 効果

活動の条件、コンセプトに賛同してくれる人が集まり、活動への継続的な参加につながった。参加することのメリットを明確にすることで、それならばできることから、と参加してくれる人も多かった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 経験が活かされることを説明する

主婦・お母さんを中心に、子育て支援の活動をしています。新しく参加してもらう主婦の方には、受け手（利用者）のニーズに応えられる働き方がここにはあり、主婦・子育ての経験が、大きく活かされるということをお話ししています。活動時間も、家事の隙間の時間を有効に使いながら活動できることを説明しています。各々に家庭があるからこそ、助け合える、支え合えることを大切にしています。



## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### オリエンテーションの実施

スタッフが新しく入ってくるときには必ずオリエンテーションを行い、団体の理念・基本方針等を丁寧に伝えるようにしています。

### まずは自分の地域を知ってもらうところから

「安全・安心街づくり講座」を開催し、自分の住んでいるところを知ってもらうことから始めています。このようなプロジェクト的な仕掛けの中で、自分たちの活動についても情報提供し、理解してもらう機会を作っています。（「さわやか港南」より）

### 活動の内容が参加者にとって必ずプラスになるということだと伝える

たとえイベントの裏方のような活動でも、楽しかったり、知り合いができたり、達成感があったりと、自分にとって必ずプラスになるからやっています。そのことを自信をもって相手にも伝えることが重要だと思います。

### ウェルカムミーティングの実施

当地域へ新規に転居してくる方々に向けて、自治会で会合を開催し、活動について理解してもらうようにしています。また区役所に対しても、転居してきた人が窓口に来たときに、当自治会を紹介してもらえよう働きかけ、認知度を上げるように心がけています。（「湘南桂台自治会」より）

### 受け入れ体制の工夫

高齢者の介護等の活動をしてはいますが、正月などは時期的に需要はあるのに、どうしても対応できるスタッフが少ないことが頻繁にあります。そこで賃金を倍額にしたところ、対応できるというスタッフが増えたことがありました。参加者のメリットが明確に見えるような、単純な仕掛けが功を奏することもあると思います。

## 解決に向けた具体的ヒント



### ③受け手（利用者）も活動の仲間になりうる

～活動の受け手（利用者）も将来の活動の仲間になり得るので、そのような視点で利用者に声かけをしてみる～



## 効果

活動の受け手（利用者）だった人が、活動に参加するようになってくれた。団体に、活動の受け手（利用者）の視点も加わり、より良い活動ができるようになった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

障害児の一時預かりの活動の中での出来事です。自分たちが障害児を預かり、その間その子どもの母親がヘルパーの資格を取得しました。その後その母親に自分たちの活動を手伝ってもらおうと、「自分だけが大変だと思っていたが、世界が広がった」と言って、喜んで手伝ってくれたことがあります。そのような、活動の受け手（利用者）が担い手に変わる場面を今まで何度も見てきました。活動の受け手と担い手は別ではありません。どちらにもなり得るものです。



## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

あらゆる困り事の相談に乗る活動を行っていくうちに、サービスを利用している方がお互いに助け合おうという気持ちになってくださり、スタッフになってくれたり、ボランティアを買って出てくれたりと徐々に活動を支えてくれる人材が増えていきました。生活に密着した活動であることがポイントではないかと思います。（「さわやか港南」より）

認可外保育施設を運営しています。施設の利用者であったお母さんが、その後子どもが大きくなり、今度は担い手として参加してくれます。若い世代が活動に加わるきっかけにもなっています。また、当法人のもう一つの事業である高齢者の介護支援をきっかけに、その後支援する側になったスタッフも多いです。



## 解決の視点

一緒に活動する  
仲間を見つける

そのためには、

解決に向けたヒント！

効果的にPRする

## 解決に向けた具体的ヒント



### ①ネーミングで心をつかむ

～活動団体の名称を、親しみやすく、何をしている団体なのかわかるように工夫する～



## 効果

以前の名称では反応が薄かったが、名称を工夫したところ、何をやっている団体なのかと興味を抱いてくれる人が多くなり、活動に参加してもらえるきっかけになった。

## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

『老人クラブ』→『シニアクラブ』等、活動名称を変更して、興味を喚起させる工夫をしています。

(「湘南桂台自治会」より)

私たちの団体は、『マザークラブ』と名乗ってはいませんが、ボランティアで毎日来てくれている男性もいます。男性が増えてきており、非常にいきいきと活動し

ています。団体の名称については検討の余地があるかもしれません。(「仲手原マザークラブ」より)



## 解決に向けた具体的ヒント



### ② 様々な媒体を活用する（ブログ、ホームページなど）



## 効果

今まで地域との関わりが薄かった方、接点がなかった方からの反応があり、新たな仲間が見つかった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 若い世代の参加

ブログやホームページで活動の様子を見て、ボランティアを名乗り出てくれる学生がいました。既存の地域内の広報媒体だけではPRしきれない世代については、こういった方法も有効だと思います。



## 解決に向けた具体的ヒント



③ コンビニやスーパーに募集チラシの掲示をお願いする



## 効果

様々な年齢層の人々からの問い合わせがあった。

## 解決に向けた具体的ヒント



④ 口コミを行う



## 効果

話を聞いた相手が知人ということで、安心して参加してくれる人が多かった。

## 解決に向けた具体的ヒント



⑤ チラシのポスティングを行う



## 効果

募集だけでなく、活動自体のPRもでき、認知度が上がった。

## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 地道な情報発信、PR

活動内容や活動報告を地域に発信することはとても重要です。すぐに反応が無くても、地域にこういった活動があると認知してもらうこと自体が、活動参加のきっかけになります。解決に向けた具体的ヒントにあるとおり、情報発信の方法は様々です。もしも自分たちの活動に対する地域の反応が薄いと感じるのであれば、今までとは違う情報発信の方法で実践してみてもいいのではないでしょうか。

子育て支援の活動をしていますが、口コミと人脈は活動のPRをする上で大きな助けとなります。地域で保育士資格を持つ方や、放課後キッズクラブの経験者など、人とのつながりの中で、新たな人材を見つけることができます。

### PR後のフォローも大切に

活動の内容をあまり理解せずにいらっしゃる方も多く、趣旨や理念、活動スタイルを理解してもらうまで時間がかかることもしばしばありました。現在では1～2日程度の活動体験の機会（お見合い期間）をもつようにしています。



## 解決に向けた具体的ヒント



⑥地域ケアプラザ、ボランティアセンター、区民活動支援センター、地区センター等の協力を得てPRする



## 効果

地域ケアプラザ等の支援機関から、様々な情報提供や相談支援が受けられ、活動を希望する方の紹介を受けることにつながった。  
また、チラシを見て、興味がある、やってみたいという人が現れた。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 地域の活動を支援する機関を活用する

地域ケアプラザ、ボランティアセンター、区民活動支援センター、地区センター等、地域には地域活動を支援する機関が数多く存在します。何か活動をしたいと考えて訪れる人も少なくありません。そういった支援機関を活用し、また協力を得て活動のPRをすることで、新しい担い手が現れる可能性は高くなります。まずは、ご自分の地域の地域ケアプラザ等に相談してみてもいいでしょうか。きっと活動の手助けになると思います。

(※巻末資料 46 ページ参照)

地域ケアプラザのコーディネーターが持つ人脈や、地域ケアプラザのボランティア交流会などを通して、地域のいろいろな活動者となつながら、活動を発展させる機会にもなりうると思います。

## 解決の視点

一緒に活動する  
仲間を見つける

そのためには、

解決に向けたヒント！

# その気にさせる

## 解決に向けた具体的ヒント



### ①感謝の気持ちを言葉で伝える

～「ありがとう」「助かった」など感謝の気持ちを伝える～



## 効果

あまり参加に積極的ではなかった方でも、感謝を言葉で伝えるととても嬉しそうにしてくれた。活動に貢献できた、喜んでもらえた、と実感してもらえた。

## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 感謝の気持ちを伝える

日常の活動の中で、ひとつひとつお互いに感謝の気持ちを伝えあったり、スタッフミーティングにおいて、それぞれの活動を振り返りながら、気持ちを分かち合うことを大切にしています。



## 解決に向けた具体的ヒント



②ともに活動したことの意味や成果を言葉で表し、思いを共有する



## 効果

自分が参加したことでの成果ややりがいを実感することにつながった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 活動後の振り返りを大切に

成果ややりがいを実感できるかどうかは、活動を継続する上でとても重要なことです。感謝の気持ちを直接伝えたり、活動の振り返りを一緒にすることで、やりがいを実感できる場面を多くつくるよう心がけてはいかがでしょうか。



## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 活動のやりがい

障害児がいる家族のサポート活動をしています。活動の受け手（利用者）のニーズがあり、それに対応できているという実感が持てるからこの活動を続けられていると思います。

〔NPO法人 あいあい〕より



### 必ず面接やオリエンテーションを行う

知り合いの紹介やある程度関係のある人でも、馴れ合いのお手伝いではなく、必ず面接やオリエンテーションを1時間程度行い、じっくりと向かい合うことで意識を高めてもらうよう努めています。

### ボランティアスタッフの交流研修会を1日プログラムで実施

自分たちの活動についての報告やワークショップ等を通して、各々の日常の活動以外の様子を知ったり、意義を再確認したり、他者の考えを聞いたりする中で、モチベーションの維持や向上が図られています。



## 解決の視点

一緒に活動する  
仲間を見つける

そのためには、

解決に向けたヒント！

**活躍の場をつくる**

## 解決に向けた具体的ヒント



①ひとりひとりの得意分野や経験を聞き取り、活動に活かせる場や機会につなげる



## 効果

適材適所での活動参加に結び付けることにより、継続した参加につながり、また活動参加を通じて、新たな役割を見出すきっかけにもつながった。

## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 特技や経験を活かしてもらおう

活動に参加する人の特技や、人生で培ってきた技術や知識は活動団体にとって重要な財産です。ご自分の団体の中でこのような活動者の財産を活かしてもらえるような場がないか考え、活動者にとっても、ご自分の団体にとっても相乗効果となるような体制づくりを心がけてはいかがでしょうか。



## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### スキルとマネジメントを分ける

団体の運営について、スキルとマネジメントを分離するシステムを取っています。組織の役員等執行部が団体運営等のマネジメントを重点的に行うことで、参加者が自分の専門的スキルをいかんなく発揮できるように環境整備を行っています。

(「湘南桂台自治会」より)

### あなたの特技は？

活動に参加してもらう際、はじめに得意な分野や特技を聞き、また、やってみたい活動も聞いてみるようにしています。スタッフそれぞれの得意な部分を活かせるような活動の場をつくり、役割をお願いしています。役割をお願いしたからといって、任せきりにするのではなく、必要に応じて相談や調整にも協力するよう心がけています。



## 解決に向けた具体的ヒント



### ②スター誕生方式

～まず参加者がかっこう良く見える場面（スターとなれる場面）での協力を  
をお願いします～



## 効果

参加した方の子どもが、親の活躍する場を見て喜んでくれて、参加者自身も嬉しそうだった。そういったことがきっかけとなって、活動に関わろうと思う方も出てきた。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### スター誕生方式

仕事をしている子育て中の年代の人々にとって、最初から活動全てに参加をお願いするというのは負担が大きいものです。例えばもちつき大会のもちつきの場面とか、子どもにとって親がかっこう良く見える場面だけをまずお願いしてみるのはいかがでしょうか。子どもが喜ぶのであれば、と参加してくれる親は多いと思います。



## 解決に向けた具体的ヒント



### ③出番を演出する

～お祭りやイベント等で男性や若い世代の力を活かせる場をつくる～



## 効果

男性や若い世代の方が適している活動もあり、責任感とリーダーシップを持って参加してくれた。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 男性の参加

一般的に、地域活動に男性を引き込むことについては難しいと思われがちです。しかし、明確に役割や責任を持っていただいた上で協力をお願いすると、リーダーシップをとって積極的に関わってくれる男性も多いようです。依頼の仕方によっては、大きな力になるはずです。

私は、男性に活動参加を呼び掛けるときは、最初は「ちょっとボランティアをする」ぐらいの感覚で構わないと思っています。気軽に入ったり辞めたりできるくらいが参加者にとっても良いのだと感じています。（「仲手原マザークラブ」より）

#### 若い世代の参加

交流会、イベント等で役割をもってもらい、高校生や大学生でもある程度責任をもって活動に取り組めるようにしています（例：広報担当、対外的な交渉役、備品担当、ちらしづくりなど）。準備から振り返りまでしっかり行ってこそ満足感や達成感、手ごたえが感じられ、それを一緒に共有することが重要です。責任があるからこそ考え、工夫するものです。

## 解決に向けた具体的ヒント



### ④参加しやすい雰囲気づくりを仲間とともに話し合う



## 効果

活動の仲間一人一人が活動団体の雰囲気や、新しい仲間の受入体制について考えてくれて、実際に団体内に良い雰囲気が広がった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 参加しやすい雰囲気づくりとは？

具体的な活動時間のシフトづくりや、意見を言  
いやすい雰囲気づくりなど、参加者が活動をする  
上で快適かどうかのポイントが数多くあります。  
そういったポイントは何か、ということを整理し、  
改善に向けてご自分の団体でどのような工夫がで  
きるか考えてみてはいかがでしょうか。



## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 参加可能な日時を調整（考慮）する

○活動日として、金曜日が月2回、月曜日が月1回、火曜日が月1回という形で設定しています。病院に通院されている参加者のために、同一曜日にしてしまうと参加できなくなってしまうための配慮です。（「仲手原マザークラブ」より）

○常勤スタッフも含め、毎月出席できる時間、日を記入し提出してもらい、理事が集約して月々のシフトを決めています。時間単位でどの程度参加が可能か、というところまで細かく記入してもらっているのが、スタッフにとって無理が少ない。これをずっと続けることが、活動が続いている要因のように思います。



### あくまで参加者の意向を尊重する

○多数決は反対派の意見を押し切ってしまう。当団体では、何かを決めるときはじっくりと話し合い、全員一致で決めるように心がけています。（「泉区下和泉住宅自治会」より）

○活動は自主性・自発性が重要です。メンバー同士が「お互い様」。これが長く続く秘訣です！

（「仲手原マザークラブ」より）

## 解決の視点

仲間が継続して  
活動に参加していく

そのためには、

解決に向けたヒント！

**やりがいモチベーション**



## 解決に向けた具体的ヒント

- ① 「ありがとう」「助かった」など感謝の気持ちを伝え続ける

## 効果

感謝の気持ちを伝え続けることによって、自分の参加が必要だと実感してくれる人が多く、継続して活動をしていくモチベーションにつながった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 感謝の気持ちを積極的に伝える

やりがいや、自分が参加したことでの影響が実感できるから活動を続けているという人は少なくないようです。タイミングを見計らいながら、その人が活動に参加していることの意味を実感できるよう心がけることが大切です。



○ちょっとしたことでも「ありがとう」と感謝の気持ちを口に出したり、ねぎらいの言葉をかけることが大切です。（「仲手原マザークラブ」より）

○毎日の活動の中で、感謝を伝えあい、スタッフミーティングにおいても互いに伝えあうことを大切にしています。



## 解決に向けた具体的ヒント

### ②活動の意味や成果を言葉で表し、思いを共有する



## 効果

活動を通して感じたことを発信する場があることにより、それが息抜きや次回参加へのきっかけにつながり、継続的に参加をしてくれるようになった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 活動の愚痴にも耳を傾ける

活動先での愚痴を聞くことも必要です。丁寧に傾聴することで、また次も活動に参加してくれることが多くあります。

また、活動先の環境整備の必要性に気付くきっかけになることもあります。当方の会長から事前に活動先に話をして調整するなど、活動しやすい環境づくりを進めることも大切です。

(「仲手原マザークラブ」より)

#### 活動者同士の情報交換を大切に

活動者同士の情報交換を、とにかく頻繁に行っています。

活動者はヘルパー部門、ケアマネジャー部門、デイサービス部門等いくつかの部門に分かれて活動をしており、各部門ごとに部門会を開き、情報交換を行っています。さらに、月1回全体会を行い、部門を越えた情報交換を行っています。

また、何人かで1人の利用者を担当しており、随時情報交換をして利用者の状態を把握しているので、何かあっても他の活動者に相談しやすい、という安心感があります。活動者が一人で悩みを抱え込まないようにしています。



## 解決に向けた具体的ヒント

### ③信頼して一定の役割を任せる



## 効果

活動者が、自分自身への周囲からの信頼感ややりがいを実感できたことで、活動継続のモチベーションが高まった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 信頼して活動者に合った役割を任せる

○広報担当や、活動者のシフトの担当等、各活動者に担当を任せています。各々が、各々のやることに口を出さないようにしています。その人が来たときに、その人にしかできないことをしてもらうことが重要です。定例会では、各担当から仕事の状況を報告してもらっています。

信頼して任せることで、一人一人が責任をもって主体的に活動してもらえるようになります。

(「NPO法人あいあい」より)

○役割を担ってもらうことにより、活動への主体性が高まり、責任感をもって活動ができるようになります。また、活動の全体が見えてくるきっかけにもなります。



## 解決に向けた具体的ヒント

### ④ 学びの場を設ける



## 効果

活動者が、学習したことを活かす場が欲しくなり、活動や活動内容の検討にも積極的になってくれた。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 活動しながら学び、皆で共有する

定期的な外部の施設研修や、勉強会への参加、レポート作成と報告会を行い、全員で共有しています。学びの場の情報にアンテナをはり、活動者に知らせることも大事です。学んだことを自分たちの活動に活かしたり、活動の改善につなげています。

#### 資格を取得して強みをもつ

平成13年に活動を法人化した後、活動者がすぐにケアマネジャーの資格を取得しました。それまでは、利用者に寄り添い、状況をよく把握しているのは自分たちなのに、利用者の担当のケアマネジャーの言ったとおりにしかできない状況でした。利用者の状況と意思を確認しながら、自分たちでケアプランを立てられるのも、強みの一つになりました。



## 解決に向けた具体的ヒント

- ⑤ **地域愛を大切にする**  
～活動者の地域に対する思いを尊重する～



## 効果

地域をこうしたい、という思いをよく話してくれるようになり、その思いが活動の継続につながった。





## 解決に向けた具体的ヒント

⑥地域の課題に気付き、活動の意義・意味を実感できるようにする  
(アンケート、まち歩きなど)



## 効果

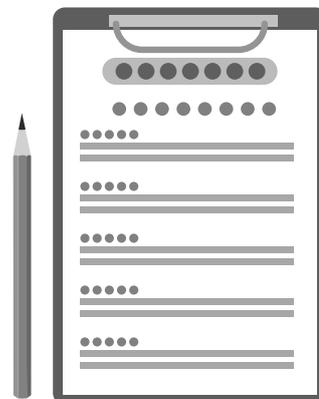
活動の意義・意味を認識することでやりがいを感じ、継続的な活動参加につながった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### アンケートやヒアリングを活用する

利用者を対象としたアンケートやヒアリングを行い、その結果を活動者の皆で共有しています。

アンケートやヒアリングの結果を受けて皆で話し合う中で、活動の意義ややりがいを感じることができ、モチベーションの維持と課題の発見につながっています。





## 解決に向けた具体的ヒント

### ⑦ 節目ごとに仲間うちで表彰する



## 効果

自分のこれまでの努力や成果が実感できることで、楽しさや達成感が生まれた。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 活動参加〇〇周年表彰

活動者が活動に参加して何か月、何年等の節目に、表彰を行っています。

普段こういったことを頑張っているかななどを褒めたたえ、しっかり見ていることをアピールするようにしています。

普段からその人を見ていないとできないことであり、活動者にとっても大きな励みになっています。





## 解決に向けた具体的ヒント

⑧タウンニュースや新聞などの情報媒体を使って、活動を紹介する



## 効果

活動の成果や自分の努力を地域に認めてもらえることで、達成感や責任感が生まれた。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 活動の成果が見えるようにする

○自分たちが取り組んでいる活動が具体的な紙面などで表される喜びは大きいものです。それらを見ることで、活動に参加する楽しみが増え、励みにもつながります。

また、多くの人に活動の魅力が伝わり、活動の活性化にもつながるでしょう。

タウンニュースや新聞などに掲載してもらえるよう、適宜こちらから働きかけることが有効です。

○ブログやおたよりの発行によって、活動を目に見える形で表現しています。



## 解決に向けた具体的ヒント

### ⑨ 楽しい雰囲気づくりをする



## 効果

活動者同士が協力しながら継続して活動に参加していくことにつながった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 団体の雰囲気づくり

○否定的な意見ばかりが出るような雰囲気では、活動者の自主性や継続性は育ちません。活動者の人格や意見を尊重し、積極的に楽しみながらできる雰囲気づくりが大切です。お互いの思いを共有し、何でも言える信頼関係をつくることが重要です。

○受け手（利用者）からの言葉や、笑顔、元気になった姿が一番のモチベーションとなっています。そのことを皆で共有しています。



## 解決の視点

仲間が継続して  
活動に参加していく

そのためには、

解決に向けたヒント！

## 活動の柔軟性



### 解決に向けた具体的ヒント

#### ①いきなり頂上を目指さない

～活動内容を固定化せず、自由さや柔軟性をもたせる～

### 効果

活動者の精神的負担が少なく、活動者が気楽に継続的に参加できるようになった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### ゆるやかな活動のスタンスを示す

○活動（ボランティア）は義務ではなく、「できることをできる時にやればよい」というゆるやかなスタンスをもっています。特にこれといった規則はありません。義務感を持たないようにするためにも、活動者の出欠はとっていません。活動（ボランティア）を義務化すると負担になり長続きしないことがあります。

（「脳イキキ教室サポーターの会」より）

○活動に入る時間帯を決める際、個人の事情も尊重できるよう、活動者の意向を確認し、できる限り考慮しています。

#### 活動者にとってのハードルを高くしない

活動に興味のある方には、活動を見てもらい、そのうち参加につながる 경우가多くあります。参加してみようと考えている方の気持ちを柔軟に受け止めて、つなげるという過程をゆるやかにやっていくことがポイントです。参加することへのハードルが高くないようにしています。



## 解決に向けた具体的ヒント

②活動に完璧さを求めず、みんなでよりよい方法を考えていく



## 効果

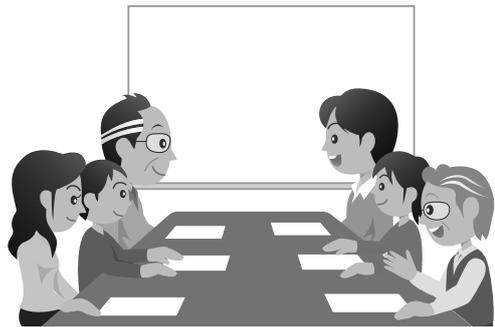
活動者同士で意思疎通もでき、合意形成をしながらより継続性の高い活動実施につながった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 活動者同士のコミュニケーション

○定例会等、メンバー全体で報告や意思疎通を図る場を設けることは非常に重要です。メンバーと話しながら、よりよい形に活動形態を変えていくことも、活動を継続する上では必要です。

○毎日のミーティング、月に1度のスタッフミーティングを大切にしています。ミーティングの内容は記録を取り、参加できなかった人にも必ず伝えて共有しています。



## 解決の視点

仲間が継続して  
活動に参加していく

そのためには、

解決に向けたヒント！

# リーダーへの支援



## 解決に向けた具体的ヒント

①リーダーを支える仲間をつくる、育てる

## 効果

リーダー自身の負担が減り、活動者も「リーダーを支える役割」を認識し、それによって次のリーダー育成にもつながった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### リーダーを支える仲間をつくる

活動の規模が大きくなってくると、リーダー1人での管理が難しい場合があります。管理面において、大きな役割を安心して任せられる仲間を、日頃から意識して育てていくことも重要です。

○自治会に基づいている他組織の活動者が下支えをしてくれています。何か新しいことをやろうというときに、リーダーはもちろん必要ですが、そのリーダーを支えてくれる人々がいることが何より大きいのです。

(「泉区下和泉住宅自治会」より)



## 解決に向けた具体的ヒント

②地域ケアプラザ、ボランティアセンター、区民活動支援センター、地区センター等からの相談支援を受ける



## 効果

活動者の活動継続に向けた様々な相談支援が受けられた（組織の管理面等）。



## 解決の視点

仲間が継続して活動に参加していく

そのためには、

解決に向けたヒント！

# 世代交代



## 解決に向けた具体的ヒント

### ①役割が人をつくる

～任期等を決め、リーダーや担い手の世代交代をルール化する～



## 効果

ルール化により、リーダーは、次のリーダーの育成も視野に入れながら活動を進めるとともに、各々の担い手は、自然な流れで世代交代を意識して、新たな担い手の発掘と育成に取り組むことにつながった。

### 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

#### 世代交代をルール化する

活動に年齢制限を設けている団体もあります。思い切った方法ではありますが、交代のルールが明確であることは、継続して担い手が参加する1つの方法かもしれません。

## 参考となる ～具体的な行動・エピソード等～

### 普段の活動を通じて引き継ぐ

活動者の中で、コーディネーター（活動者と利用者のマッチングをする人）の負担が大きくなっています。コーディネーターの後継者は、日頃の活動から何人か見つけています。特別な研修などはなく、一緒に活動しながら受け手（利用者）ともふれあう中で、コーディネーターとしての動き方を肌で感じて学んでもらっています。

（「さわやか港南」より）

### 任期制と”天下り”の活用

自治会長は2年に1回交代するようにしています（連続2期まで就任可能）。

また、自治会役員を務めた人は、その後、関係団体の委員を引き受けてもらうなど、地域の活動に参加してもらうようにしています。私たちの地域では、これを”天下り”と呼んでいます。これには、活動目的やノウハウ等についても継承されていくというメリットがあります。

会長職は自治会を南北で分けて、交互に選出して偏りが出ないように配慮しています。

（「湘南桂台自治会」より）





## 巻末資料

- (1) 横浜市社会福祉協議会 助成金情報 ..... P 45
- (2) 地域での活動を支援する機関 ..... P 46
- (3) ヒント集作成までの検討経過 ..... P 47
- (4) ヒアリング先一覧、参考資料 ..... P 49

# 横浜市社会福祉協議会 助成金情報

横浜市社会福祉協議会で実施している「よこはま ふれあい助成金」は、第4次横浜市地域福祉活動計画（平成22～25年度）に沿った市民の皆さんの新たな活動を支援していく助成金です。

横浜市地域福祉活動計画は、「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」ことを目指し、市民並びに福祉保健の関係団体や事業者等が主体的に地域で進めていく取組み・活動についてまとめたものです。

「よこはま ふれあい助成金」は地域福祉活動計画の3つの重点計画の内容に合致する対象事業に対して、審査を経て助成されます。

## ■市社協受付分

助成区分	主な対象事業	助成年限	助成条件	
横浜市社協の助成金	重点計画1 「つながり」を大切に 地域をつくる	1年 (★)	調査研究事業は、研究結果を公表・発表すること	
	重点計画2 情報が、支援が届くしくみをつくる		当事者団体等による福祉啓発事業 * 障害児者団体等が主体的に福祉理解を進める事業	当事者団体関係者以外への啓発であること
			必要な人に情報を届けるための事業 * 既存情報の整理・再発信や、新たな方法による情報発信の取り組みを行う事業	情報が届いたかどうかの検証について計画されていること
	重点計画3 一人ひとりの参加で市民活動の輪を広げる		障害者作業所、障害者グループホームの開設準備事業	年度中に開設準備を行い、翌年度の4月1日までに開所すること
	複数の機関・団体による協働事業		同一法人・同一団体内による協働でないこと	

★一度助成を受けた事業でも、平成25年度まで継続申請することが可能です。

助成内容を変更することがありますので、必ず下記窓口でご確認下さい

詳しくは横浜市ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい

電話201-8620

FAX 201-1620

E-mail: yvc@yokohamashakyo.jp

URL: <http://www.yokohamashakyo.jp/yvc>

## ■各区の区社協の助成金

助成区分	主な対象事業	助成年限	助成条件
各区社協の助成金	市民参加による地域福祉推進事業	助成年限なし	各区社会福祉協議会にて、受付・審査・決定を行います。詳細は各区社協へお問い合わせ下さい。  お申し込みは事業の中心・もしくは事業所が所在する区の社協になります。
	障害当事者活動		
	福祉のまちづくり活動		
	何らかの支援が必要な人々に対する地域福祉推進事業 視覚障害者や聴覚障害者への技術を要する直接支援事業 障害児者及びその家族が行う障害児者の自立支援並びに社会参加のための事業 障害当事者やその家族などによる宿泊、日帰りハイク事業 「誰もが安心して暮らしていけるまちづくり」を市民参画型で行う事業		

詳しくは各区の区社協ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい

URL: <http://www.yokohamashakyo.jp/link/s-9-2.html>

## 地域での活動を支援する機関

地域には、市民のみなさまの地域活動を支援する、さまざまな相談支援機関があります。これから何か活動を始めようと思っている方、現在の活動について困りごとがある方など、一度相談をしてみてもいかがでしょうか。

今まで知り得なかった情報、仲間を増やしていくためのヒントや、違った視点での助言など、今後の活動に役立つ情報や支援を受けることができます。

### 横浜市ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティアを必要としている人やボランティア活動をしたい人をつなげたり、ボランティア情報の提供や相談支援等を行っています。

また、各区にあるボランティアセンター等とも連携して、ご相談に対応しています。

〒 231-8482

神奈川県横浜市中区桜木町 1-1

(横浜市健康福祉総合センター 8F)

TEL : (045)201-8620 FAX : (045)201-1620

URL : <http://www.yokohamashakyo.jp/yvc/top.html>

### 地域ケアプラザ（横浜市内に 123 か所）（平成 23 年 5 月時点）

身近な地域の福祉・保健活動の拠点として、施設をご利用いただけます。

また、子育てサロンや健康体操教室など、地域のみなさんが参加できる事業を行っています。

さらに、ボランティアや地域の活動の情報や相談支援等を行っています。

各区の地域ケアプラザの所在地、連絡先等については、

URL : <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/shisetsu-joho/careplaza.html>

### 横浜市市民活動支援センター

NPO やボランティア団体などによる、公益的な市民活動を総合的に支援している拠点です。

さまざまな分野の市民活動団体や、ボランティアなど、すでに活動している人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援しています。

また、各区にある市民活動支援センター等とも連携して、ご相談に対応しています。

〒 231-0062

横浜市中区桜木町 1-1-56

みなとみらい 21 クリーンセンタービル 4・5 階

TEL : 045-223-2666 FAX : 045-223-2888

URL : <https://opencity.jp/yokohama/>

# ヒント集作成までの検討経過

## <検討内容>

地域では、自治会町内会、ボランティア、NPO団体等によってさまざまな活動が実施されていますが、活動を支える担い手の不足、後継者の育成といったものが、活動されている方の共通の悩みとしてあげられます。

そこで、幅広い市民が地域福祉保健活動に参加することができるよう、新たな人材発掘、育成するためのヒントを検討しました。

## <検討の位置付け>

検討にあたっては、第2期横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会設置要綱第8条に基づき、分科会を設置し検討を進めました。

項目	時期	内容
第1回分科会	H22年8月5日	・分科会の目的、趣旨、今後の進め方の説明
		・幅広い人材を発掘・育成するための事例収集の進め方等検討
事例収集 (ヒアリング等)	H22年8月～10月	・幅広い人材発掘・育成するための事例収集のため、先駆的事例を実践している方、団体関係者へのヒアリング、既存の冊子等からの事例収集等を実施（P47参照）
中間報告①	H22年11月11日	・第12回第2期横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会
第2回分科会	H22年12月2日	・収集した事例の整理、検証
		・「幅広い人材を発掘・育成するためのヒント（中間案）」検討
意見募集	H22年12月～ H23年1月	・中間案に対する意見募集 (意見募集先：区事業企画担当、区社協、地域ケアプラザ、分科会委員)
第3回分科会	H23年3月4日	・「ヒント集 冊子 掲載内容一覧」の内容、掲載様式の検討
中間報告②	H23年3月29日	・第13回第2期横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会
最終報告	H23年6月13日	・第14回第2期横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会

## <開催時期及び開催回数等>

## <検討結果の活用方法>

ヒント集を、活動者の悩みの解決に向けた重要なツールとして、継続して活用します。

※活動者に情報提供し活動の参考にしてもらう、活動者を支援する立場の区ボランティアセンター、区民活動支援センター、地域ケアプラザ等において、相談支援を行う際に活用してもらうなど。

## <分科会委員名簿>（敬称略、五十音順）

委員名	所属	分野
井上 禮子	横浜市社会福祉協議会 福祉ボランティア・市民活動部会 部会長	ボランティア関係者
黒津 貴聖	市民委員	市民委員
齊藤 保	(株) イータウン 代表取締役 港南台タウンカフェ	コミュニティビジネス関係者
柴田 眞紀	中区本牧原地域ケアプラザ 地域交流コーディネーター	ケアプラザコーディネーター
白岩 正明	旭区若葉台地区社会福祉協議会 会長	地区社会福祉協議会関係者
竹谷 康生	栄区桂山クラブ 代表	老人会関係者（まちづくり関係）
中野 しずよ	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま 理事長	NPO・市民活動団体等中間支援組織
名和田 是彦 *分科会長	法政大学法学部 教授	学識経験者（コミュニティ）
平賀 裕	市民委員	市民委員
山田 美智子	よこはま一万人子育てフォーラム	子育て分野関係者
吉弘 初枝	ほどがや市民活動センター アワーズ センター長	生涯学習、子育て分野関係者

# ヒアリング先一覧

ヒアリング対象（団体）	活動拠点区	活動内容
仲手原マザークラブ	港北区	町内会婦人部としての自治会活動で、港北区仲手原在住者を対象に、デイサービスや高齢者昼食会、高齢者施設でのお手伝い等の活動をしています。
湘南桂台自治会	栄区	自治会活動を中心に、老人クラブの活動や生活の様々な場面でのお手伝いの活動など、分野ごとに幅広い活動をしています。自治会としての活動は、広報誌桂山の発行、自治会ニュースの発行、行政機関からの配布物などを各戸配布、防災訓練、一斉清掃、防犯パトロール等様々です。
NPO法人 あいあい	港北区	主に障害や病気のある子どもの兄弟を一時的に預かる、託児室「あいあい」を運営しています。 他にも、集団保育、親子学級、公園遊び等地域での交流や普及啓発等も行っていきます。
泉区下和泉住宅自治会	泉区	自治会活動から始まり、現在はNPO法人を立ち上げ、高齢者の外出支援活動や、自主運営によるコミュニティバスの運営等、送迎に関する活動を行っています。他にも、日常の困りごとをボランティア会員で支援する活動等も行っていきます。
家庭教育学級ばんぶきん運営委員会（NPO法人 横浜市民アクト）	磯子区	「子どもと一緒に親育ち」をテーマに、地域の子育て中の母親が、仲間づくりと、学び合いながら主体的な社会参加（家庭から地域に目を向けて）をする事により、地域の子育てを自分たちも担っていくことを目的に実施しています。母親たちが運営委員になり、主に子育てに関する地域活動のプログラムを実施しています。
さわやか港南	港南区	港南区区民活動支援センターのランチ（サブ拠点）として、市民活動に関する情報チラシの配架、講座・イベントの企画・実施をしています。また、家事援助などの高齢者向け在宅支援、保育園・幼稚園の送迎や託児などの子育て支援などの有償サービスや、青年学級、寺子屋、障害者や高齢者などの居場所づくりにも取り組んでいます。
「脳イキイキ教室」サポーターの会	中区	高齢者向けの活動として、簡単な「読み書き」「計算」を毎日15分程度することにより、脳の働きを活性化させるための教室を開いています。学習以外の時間では、サポーターや参加者同士の交流にも取り組んでいます。
NPO法人 5つのパン	都筑区	精神障害者の方々のホームヘルプ事業に取り組んでいます。また、地域活動支援センター事業として、絵本を読めるカフェと手作り製本や布小物をつくるワークショップや地域の方々の商品を販売するショップを運営しています。

## 参考資料（既存の冊子等）

既存の冊子（事例集等）	発行元
国民生活白書	内閣府
ふれあいの居場所ーガイドブッケー	公益財団法人さわやか福祉財団
新しい風をつくる地縁型組織とテーマ型組織の協働ヒント集	市民セクターよこはま・横浜市健康福祉局福祉保健課
サロン活動ヒント集	南区社会福祉協議会
人がつながり地域が活きる 横浜市地域ケアプラザ地域活動交流事例集	市民セクターよこはま・横浜市健康福祉局福祉保健課



## 人が集まる！活動が続く！地域活動のヒント集

平成 23 年 6 月発行

発行：第 2 期横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 分科会  
横浜市健康福祉局地域福祉保健部福祉保健課  
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

連絡先：横浜市健康福祉局地域福祉保健部福祉保健課  
〒 231-0017 横浜市中区港町 1 - 1  
TEL : 045-671-3567 FAX : 045-664-3622  
横浜市社会福祉協議会地域活動部地域福祉課  
〒 231-8482 横浜市中区桜木町 1 - 1  
TEL : 045-201-8616 FAX : 045-201-1620